

## 大規模ブースで、商品に対する 安心感・ブランドイメージを

住友精化(株) 理事 機能樹脂事業部副事業部長 山本 琢司

ブース番号 A1035

機能樹脂事業部 第2 吸水性樹脂部長 松本 崇秀

### ANEX直前に工業会で国際会議

吸水性樹脂工業会（荒川化学，花王，サンダイヤポリマー，日本触媒，住友精化）では5月22，23日にSPACE（欧州），IPA（USA），およびアジアのSAP（吸水性樹脂）メーカー3社を加え日本で合同会議を開催する。会場は東京・六本木の住友会館（泉ガーデンタワー）で，22日には会議とパーティを予定。23日にはセミナーを開催する。

従来われわれもSPACE，IPAの総会には出席していたが，アジアでも同様に地域の主力メーカーを含めた日本での会議開催を定例化したいと考え，日本衛生材料工業連合会（日衛連）と協力して誘致し実現した。ヨーロッパ，アメリカとアジアで世界を3極で運営できるよう，来年はアジア吸水性樹脂工業会を立ち上げたい。

### 世界の顧客に安心感とブランドを

当社の顧客は全世界で数百社あるが，ANEXは彼らと一堂に会してミーティングの持てる絶好のチャンスである。既存のお客様とのミーティングの場，機会とするのがわれわれの出展の第一目的である。

それとともに当社としては大規模なブースを設け，商品に対する安心感・ブランドイメージを顧客に持って頂く機会にしたい。

すでに地道な技術的サービスの展開と，訪問によるコミュニケーションは構築できていると自負して

いるが，今回ANEXという展示会場においてお客様と直接話し合う機会をつくることによって，当社に対する安心感や信頼感を深めていただけると期待する。

日本や先進国においては新規顧客の開拓は難しいが，展示会となれば東欧，ロシア，アフリカ，中央アジアなどの国からも時に来客があり，こんな地域でももう始めているのだな，という出会いもあった。とくにスイス・ジュネーヴでのINDEXではそういう経験が多かった。

日本の場合はどうなるか分からないが，国際的なビジネスチャンスを得る機会としても期待している。

### 重点営業地域はアジアと中東

当社はシンガポールと日本で5万5,000tづつの合計11万tの能力で，プラントの立地の面からもアジア重点になっている。

現在の営業活動の主力はアジアと中東である。ただしわれわれは以前からアメリカ，中南米，ヨーロッパも含めて営業展開してきた。世界の情報を知らずして，主力市場の日本，アジア，中東の市場開発はできない。

10年くらい前までは南米・アメリカ大陸が主力だったが，市場の変化に伴い主力地域も移ってきた。SAPの需要は今後も中南米やアジア，中東，アフリカでGDPが上がるにつれ伸びていく。日・韓・台はすでに普及したが，10年後には世界で3割以上増加するという見解もある。



山本琢司副事業部長（左）  
松本崇秀第2 吸水性樹脂部長

### グローバルに安全性を伝える

吸水性樹脂工業会による国際活動の目的は，世界的な規模でSAPの安全面・環境面の情報を共有化していくことである。

われわれは吸収性樹脂は安全なものであると考えているが，製品の主な消費者はデリケートな赤ちゃんや母親であり，消費者からのイメージが非常に大切な商品であると言える。

これに対し最近，世界の安全評価基準がドイツを中心にどんどん厳しくなっている。各国で法制度は違うので，国ごとの違いを知り，世界基準に対して自分たちのSAPがどの位置づけにあるかを認識しながら，消費者への使い方の安全性などを伝えたい。

消費者から誤った情報で間違った認識をされないように，世界的に統一された情報を提供していくのが私たち工業会の活動である。

消費者への情報の窓口は日本では吸収性樹脂工業会ではなく日衛連であり，ヨーロッパでもSPACEではなくEDANAである。ホームページで告知をしたり消費者からの相談を受ける際には，工業会がきちんとしたデータを持って日衛連をバックアップし，回答するようにしていく。

### 懸濁重合合法による品質優位を

中国でもSAPメーカーは数社立ちあがっているが，まだまだ規模は小さい。SAPメーカーはそれぞれノウハウの積み重ねで今日まで歩んで来た。SAPは誰でもつくれそうに見え

るがそうではない。ポリエチレンやポリプロピレンなどは、熔融粘度、色や分子量など測れば分かるスペック商品である。しかしSAPでは「なぜこういう物性にしているか」に理由がある。製造メーカーによってそれぞれ形や性能が異なっている。

われわれは粒子形状や吸水性能など、いろいろな性能をコントロールしながら最終製品にしている。1978年から始めて30年間積み重ねて、今日の商品になった。懸濁重合法でここまでの量産化、コンパクトで競争力のあるプラントで、品質でも群を抜いてやれるメーカーは他にない。

われわれの懸濁重合法では均一な重合反応が進むため高い吸水性能を得るに適した製法であり、また重合プロセスで粒径を決められ、ある粒径を目指せばシャープな粒径分布をつくれる安定した重合技術を開発できた結果、誰にも真似のできない製品として結実した。

新しい顧客にポリマーを売り込むときも、他社は同じ製法なので、違いを説明しにくくアドバンテージを顧客に示すのが難しい。当社の製品は製法も性能も違うから、その点でも評価を受けやすいと言える。

当社の製品はマシン適性でも優れ、安定して同じ量がフィードできる。ドラムフォーマーのマシンは、SAPをバイブレーションで送り出し気流輸送するような構造だが、当社

の製品は粒径が安定しているので、SAP添加量を一回設定すればロットが変わってもそのまま安定してフィードされ品質の安定した吸収体が製造できる。コントロールしやすいので、工場の人からは扱いやすい、ノーメンテで使えると評価されている。

また当社は「一度お客様になって頂いたら永く付き合う」という考えを基本に、SAPだけでなく吸収コアの改良などに関してお客様と共同して製品のクオリティを上げていくための技術サービスも展開している。

### 特殊機能性・水溶性ポリマーも展示

今回の展示は吸収性樹脂がメインだが、機能性ポリマー、水溶性ポリマーなど、関連する他の製品もパネルおよびサンプル展示を行う。

特殊な熱可塑性樹脂アクアコークは、以前にANEX2000でも当社の笈田がプレゼンをさせて頂いた。アルコールも吸収する樹脂で、芳香剤などの用途に使われる。アジア地域に展開する紙おむつなどの大手メーカーは、ティッシュやシャンプー、化粧品などハウスホールド関連の製品も製造しているケースが多く、当社のシナジーを生かせるものと考えた。

### 寛げる大型商談スペース

ブースのイメージは清潔感を大

切にした。また離れた多方向から見て分かるように、上部の社名掲示を円柱にしている。ミーティングスペースはブース内に大型のものを2カ所設け、寛いで商談ができるように配慮した。ソフトドリンクのサービスも用意している。またブースへの来客には、グッズとして不織布製のバックを配布する。

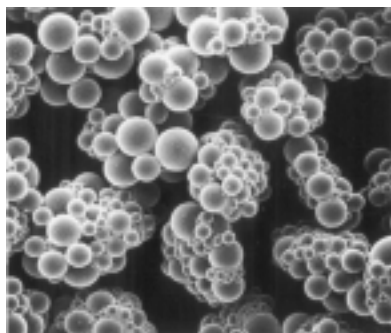
お客様にはとくに用事がなくても、お気軽にブースへお立ち寄り頂きたい。

### もっと海外からの来客誘致を

日本でのANEXをもっと盛んにするためには、主催者をもっと海外からの来客誘致、サービスを積極的にしていただきたい。

例えばビザはアジア諸国から来る場合、受け入れ側がきちんとしていないと取得できない。当社の顧客はわれわれでサポートしているが、主催者側でもインターネットから登録すれば取得を援助をするなどのサービスを今後考えていただきたい。INDEXではビザ取得の支援をしている。

ジュネーブでは来場者向けの宿泊料は一般よりも安くなっており、いつも出展する大手化学品メーカーが出展を控えたのも、日本の展示会の全般的な割高感が影響したのではないと思われる。国際的な大手メーカーから出展がされていないのは残念である。



アクアキープの電子顕微鏡写真



住友精化シンガポール工場（2期）